



美術／インスタレーション

さわ のぼり きょう こ
澤 登 恭 子

山口市
出身地 神奈川県
1973年生 (46歳)

■略歴・業績

1996年	東京藝術大学 美術学部絵画科油画専攻 卒業	2010年	「もっと動きを - 振り付師としてのアーティスト」展 広島市現代美術館 (広島県・広島市)
2000年	東京藝術大学 美術研究科壁画研究室 修了 個展「Honey, Beauty and Tasty」CAS (Contemporary Art and Spirit) (大阪府・浪速区)	2015年	「宇部現代美術展 Field of Dreams」展 (山口県・宇部市)
2001年	「JAM: Tokyo-London」展 Barbican Art Center (イギリス・ロンドン)	2017年	「歌とピアノと現代美術の饗演」秋吉台国際芸術村コンサートホール (山口県・美祢市)
2003年	「アサヒ・アート・コラボレーション わたしのお宝交換プロジェクト」展 (主催: 財団法人アサヒビール芸術文化財団) (すみだリバーサイド・ギャラリー 東京都・墨田区)	2018年	「ABSTRACTION & FIGRATION」Galerie Grand E'terna (フランス・パリ) 個展「澤登恭子展—Rondeau 繰り返し見る夢のつづき」山口県旧県会議事堂 (後援: 山口市) (山口県・山口市)
2004年	「MEDIARENA」The Govett Brewster Art Gallery (ニュージーランド・ニュープリマス)	2019年	個展「Träumerei - タベの夢想」TS4312 (東京都・新宿区) 「やまなみ芸術祭'19」 (香川県・綾川町) 個展「春の嵐」Operation Table (福岡県・北九州市)
2007年	「花咲くころ - モネ、ルノワールから須田悦弘、澤登恭子まで」展 (アサヒビール大山崎山荘美術館 京都府・大山崎町)		

■功績概要

現代美術家として、ライブパフォーマンスや映像、インスタレーション作品などを、国内外のアートイベントなどに精力的に発表している。女性の内在する力を主要なテーマとし、深い思索が込められた作品の数々は、現代美術の分野で評価が高まっており、今後一層の活躍が期待される。



『Honey, Beauty and Tasty』 制作 2000年～